

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間：2022年4月～2023年3月

株式会社 戸高製作所




発効日：2023年 6月 14日〔第2版〕

題目	ページ数
1・ 環境経営方針	3
2・ 組織の概要	4
3・ 実施体制	5
4・ 役割と責任及び権限	6
5・ 中期環境経営目標	7
6・ 環境経営計画の事業部ごとの取組と評価	
・加工事業部 加工課	8
・FA事業部	9
・船舶事業部	10
・加工事業部 生産課	11
7・ 環境経営目標の実績と評価 及び次年度の取組	12
8・ 環境関連法規などの取りまとめと遵守評価記録	15
9・ 代表者による全体の評価見直し記録	16
10・ 代表者のエコアクション21への思い	17
11・ 環境経営活動の取組	18
12・ 緊急事態対応訓練	20

環境経営方針

基本理念

株式会社戸高製作所は、
 金属部品精密加工・自動機設計製作・船舶機器開発の三事業を通し、
 日本国内ものづくりの礎となることを誓い、
 その生産活動において自主的、積極的に、環境への取組みを推進することにより
 持続可能な社会の構築を目指します。

行動指針

1. 次の項目を重点項目として継続して取り組みます。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、
 二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
 - (2) 廃棄物排出量の削減に取り組むとともに、リサイクル促進に努めます。
 - (3) 水を大切に、水使用量の削減に取り組めます。
 - (4) 化学物質使用量の削減、適切な管理に努めます。
 - (5) 開発及び生産工程見直し・改善により 生産効率向上に取り組めます。
2. 当社の事業経営に関する環境関連法規等を遵守いたします。
3. 環境経営レポートの定期発行により、環境情報を公開するとともに、
 地域貢献活動を推進します。
4. 環境経営システムの継続的改善に取り組んで参ります。

制定日 2022年6月3日

株式会社 戸高製作所
 代表取締役 赤坂武義



組織の概要

①名称及び代表者

会社名： 株式会社 戸高製作所
 代表者： 代表取締役 赤坂 武義
 設立： 1970年1月19日
 資本金： 4,000万円

②所在地

(本社・工場) 大分市青崎1丁目3番21号

③環境管理責任者及び担当者(事務局) 電話：097-521-1379 (代表)

環境管理責任者	取締役統括部長	金丸 聡
事務局	加工事業部	熊谷隆徳

④事業内容

精密部品加工，半導体製造装置・省力化装置の開発・設計・製造・販売及びサービス，船舶用電子機器の開発・製造・販売及びサービス

⑤事業規模

	単位	2021年度	2022年度
売上高	万円	87,612	87,515
従業員数	人	50	53
床面積	m ²	2145.9	2145.9

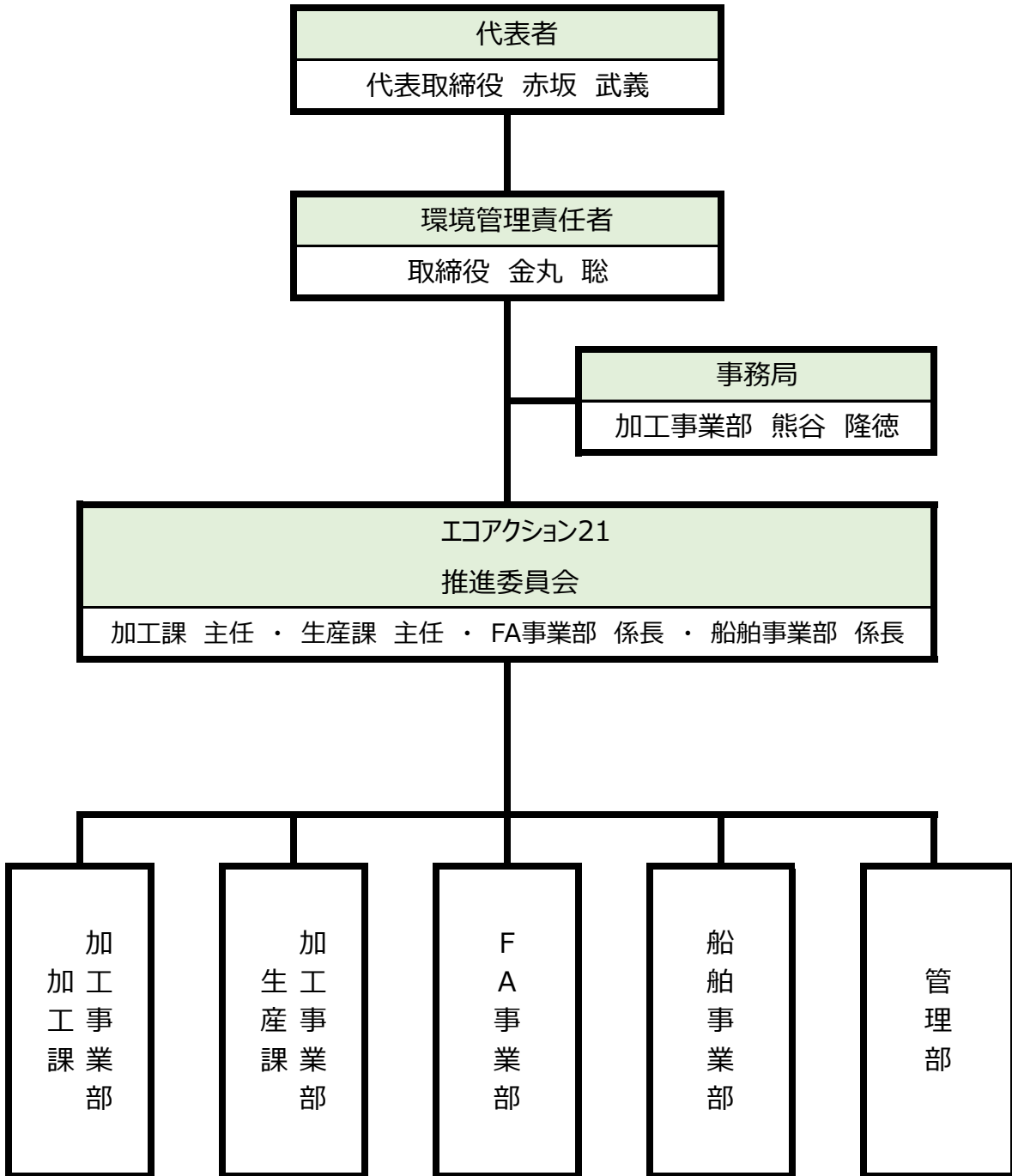
⑥事業年度

【期首】4月1日 ～ 【期末】翌年3月31日

⑦対象範囲

全組織、全活動

エコアクション21実施体制



役割と責任及び権限

担当	役割・責任
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営レポートの作成
エコアクション21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境経営活動に関する意見交換 ・自部門における環境経営活動の実施 ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する ・推進委員は各部門長より活動を委託され、相互合意のもと活動を行う。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

中期環境経営目標

各年度対象期間：期首4月 ～ 期末翌年3月末

No.	環境目標	基準年度 実績値 2021年度	2022年度 目標値/ 基準年度比	2023年度 目標値/ 基準年度比	2024年度 目標値/ 基準年度比	
1	二酸化炭素排出量 削減 単位kg-CO ₂	402,662	400,649	398,636	396,622	
			△0.5%	△1.0%	△1.5%	
	1-1	電力消費量 削減 単位：kWh	801,118	797,112	793,107	789,101
				△0.5%	△1.0%	△1.5%
	1-2	ガソリン消費量 削減 単位：ℓ	6,692	6,659	6,625	6,592
				△0.5%	△1.0%	△1.5%
2	2-1	一般廃棄物排出量 削減 単位：kg	1,069	1,058	1,048	
			△1.0%	△2.0%	△3.0%	
	2-2	産業廃棄物排出量 削減 単位：kg	31,705	31,388	31,071	30,754
			△1.0%	△2.0%	△3.0%	
3	水使用量 削減 単位：m ³	330	328	327	325	
			△0.5%	△1.0%	△1.5%	
4	生産効率向上による 環境への効果	・新たな開発や生産工程見直しによる時短に取り組み、電力消費量を抑制する。				
5	品質不具合削減に よる環境への効果	・打合せ、段取りをしっかりと行い、不具合削減に努める。 ・ロスを削減する事により、再製作時の電力消費量を抑制する。				

※ CO₂排出係数は 九州電力2020年度 0.479kg-CO₂/kWh（調整後排出係数）

※ 軽油とLPGについては使用量が少ないので目標に設定せず日常管理に努めて参りますが、CO₂排出量の合計の項目には含めます。

環境経営計画の事業部ごとの取組と評価

部署名：加工事業部 加工課

取組結果基準：○できた △一部できた ×できなかった

環境方針 の番号	目標課題	具体的な行動	頻度	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1 電力消費量の削減	1 昼休み、不在時の消灯	毎日	○
		2 帰宅前のP Cの電源オフ	毎日	○
		3 帰宅前の機械電源断、電源オフ	毎日	○
		4 エアコンフィルターの定期清掃	毎月	○
		5 気温の状態により、エアコンの温度調整	毎日	○
		6 気温の状態により、エアコン稼働台数の管理	毎日	○
		7 その日使用しない機械の電源オフ	毎日	○
	—			
	—			
1-2	ガソリン消費量の削減	—		
		—		
		—		
廃棄物排出量削減	2-1 一般廃棄物排出量の削減	1 リサイクルボックスの活用	毎日	○
		2 裏紙使用の推進（チェックシートなど）	毎日	△
		—		
	2-2 産業廃棄物排出量の削減	1 リサイクルボックスの活用	毎日	○
		2 金属を含む廃棄物はバラしてリサイクル可能な様分ける	毎日	△
	—			
	—			
3	水使用量の削減	1 現場、お手洗いに節水ステッカーの設置	7月	○
		—		
		—		
4	生産効率向上による環境への効果	1 加工方法見直しによる、加工時間削減	毎日	△
		2 中抜き品など、外形寸法の縮小提案	毎日	○
		3 加工能力、効率の高い工具や砥石の検討	毎日	△
		4 加工部署変更などによる、加工の高効率化提案	毎日	○
5	品質不具合削減による環境への効果	1 不具合削減による、再製作の減少	毎日	○
		—		
		—		
		—		

頻度：日を決めて行うものには、毎日や毎週といった行う頻度を記入して下さい。

責任者：各具体的な行動には責任者を決定してください。

結果：責任者は結果をエコアクション推進委員に報告し推進委員はこの表に記入して下さい。

その際には結果の評価も行い、指摘や助言などを行ってください。

環境経営計画の事業部ごとの取組と評価

部署名： **FA事業部**

取組結果基準： ○できた △一部できた ×できなかった

環境方針 の番号	目標課題	具体的な行動	頻度	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1 電力消費量の削減	1.昼休みの消灯	毎日	○
		2.冷暖房の設定温度厳守	毎日	△
		3.PCおよびプリンタの退社時の電源オフ	毎日	○
		4.エアコンフィルターの定期的清掃	毎月	△
		—		
		—		
		—		
		—		
1-2 ガソリン消費量の削減	1.エコドライブの推進	毎週	○	
	2.燃費のチェック	毎月	○	
	3.車両点検の実施	毎週	○	
	—			
廃棄物排出量削減	2-1 一般廃棄物排出量の削減	1.裏紙使用の推進	毎日	○
		2.ゴミの分別の徹底	毎週	○
		—		
	2-2 産業廃棄物排出量の削減	1.産業廃棄物の分別	毎日	○
		2.リサイクル推進（廃棄予定ネジ回収BOXの整理）	毎月	○
		—		
	—			
3 水使用量の削減	蛇口を大きく開かない（給湯室、食堂）	毎日	○	
	蛇口をきちっと閉める（給湯室、食堂）	毎日	○	
	水漏れチェック（水道メータ確認）	奇数月	○	
	—			
4 生産効率向上による環境への効果	開発時のDRの実施	都度	○	
	治工具の点検整備		○	
	—			
	—			
5 品質不具合削減による環境への効果	開発時のDRの推進	都度	○	
	チェックシート利用の推進	都度	-	
	—			
	—			

頻度：日を決めて行うものには、毎日や毎週といった行う頻度を記入して下さい。

責任者：各具体的な行動には責任者を決定してください。

結果：責任者は結果をエコアクション推進委員に報告し推進委員はこの表に記入して下さい。

その際には結果の評価も行い、指摘や助言などを行ってください。

環境経営計画の事業部ごとの取組と評価

部署名：船舶事業部

取組結果基準：○できた △一部できた ×できなかった

環境方針 の番号	目標課題	具体的な行動	頻度	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1 電力消費量の削減	昼休み、長時間不在時の消灯	毎日	○
		長時間不使用時のPC、モニター電源OFF	毎日	○
		少人数での作業時、区画ごとにこまめ消灯	毎日	○
		エアコンフィルターの清掃		○
		冷暖房の温度設定の制限	毎日	△
		サーキュレーターを活用	毎日	○
		ブラインドによる遮光	毎日	○
		中間期（夏、冬以外）外気取り入れ	毎日	—
	服装による温度調節（寒い日に着込む等）		○	
	1-2 ガソリン消費量の削減	車両点検（タイヤ空気圧など）		○
		エコドライブの励行 （急加速、急発進などしない）		○
		燃費チェック	毎月	○
		ハイブリッド、軽自動車の優先利用		△
		中間期（真夏、真冬以外）の車内待機時アイドリングストップ		△
公共交通機関の利用			—	
廃棄物排出量削減	2-1 一般廃棄物排出量の削減	ペーパーレス化の励行	毎日	○
		裏紙使用の励行	毎日	○
		ゴミの分別	毎日	○
	2-2 産業廃棄物排出量の削減	在庫の管理		○
ゴミの分別		毎日	○	
3	水使用量の削減	蛇口を大きく開かない（給湯室、食堂）	毎日	○
		蛇口をきちっと閉める（給湯室、食堂）	毎日	○
		水漏れチェック（トイレ、給湯室、食堂）	毎月	○
4	生産効率向上による環境への効果	開発時のDRの実施		—
		治工具の拡充		△
		治工具の点検整備		○
		手順書活用		○
5	品質不具合削減による環境への効果	開発時のDRの推進		○
		チェックシート利用の推進		×
		手順書活用		○

頻度：日を決めて行うものには、毎日や毎週といった行う頻度を記入して下さい。

責任者：各具体的な行動には責任者を決定してください。

結果：責任者は結果をエコアクション推進委員に報告し推進委員はこの表に記入して下さい。

その際には結果の評価も行い、指摘や助言などを行ってください。

環境経営計画の事業部ごとの取組と評価

部署名：加工事業部 生産課

取組結果基準：○できた △一部できた ×できなかった

環境方針 の番号		目標課題	具体的な行動	頻度	取組結果
二酸化炭素排出量削減	1-1	電力消費量の削減	昼休み、不在時の消灯	毎日	○
			PC退社時の電源オフ	毎日	○
			冷房室温の設定 夏24℃ 冬22℃	毎日	△
			エアコンフィルターの掃除	月1	○
			冬季以外の給湯の停止	毎日	○
			ブラインドを活用し遮光する	毎日	○
	1-2	ガソリン消費量の削減	点検（空気圧など）隔週金曜日	月1	○
			エコドライブの励行	毎日	○
			燃費チェック（月1）	月1	○
			—		
廃棄物排出量削減	2-1	一般廃棄物排出量の削減	使い捨て製品の購入の抑制	毎日	○
			社内情報のペーパーレス化	毎日	△
			裏紙使用の推進	毎日	○
			ゴミの分別の徹底	毎日	○
	2-2	産業廃棄物排出量の削減	—		
			—		
			—		
			—		
3	水使用量の削減	蛇口を大きく開かない	毎日	○	
		手洗い後蛇口をしっかりとしめる	毎日	○	
		—			
		—			
4	生産効率向上による環境への効果	—			
		—			
		—			
		—			
5	品質不具合削減による環境への効果	—			
		—			
		—			
		—			

頻度：日を決めて行うものには、毎日や毎週といった行う頻度を記入して下さい。

責任者：各具体的な行動には責任者を決定してください。

結果：責任者は結果をエコアクション推進委員に報告し推進委員はこの表に記入して下さい。

その際には結果の評価も行い、指摘や助言などを行ってください。

環境経営目標の実績と評価 次年度の取組（1）

実施期間（2022年4月～2023年3月）

■ は達成 □ は未達

評価基準：○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

No.	環境目標	基準年度 実績値 2021年度	2022年度 目標値/ 基準年度比	2022年度 実績	達成率	評価
1	二酸化炭素排出量の削減 単位：kg-CO ₂	402,662	400,649 基準年度△0.5%	363,750	110.1%	○
	評価と 次年度の取組み内容	達成率で110%と大きな成果をあげました。当社の環境への負荷割合の95%を占める電力量を削減できたことが大きな要因であります。 次年度の取組みとして、更なる電力量の削減に努めるべく監視及び自動車の省エネ走行に取り組んで参ります。				
	電力消費量削減 単位：kWh	801,118	797,112 基準年度△0.5%	724,667	110.0%	○
	評価と 次年度の取組み内容	達成率で110%、電力量では基準年度比で76,451kWhの削減(約一カ月分の使用量)と良い結果となりました。 次年度の取組みとして設備増設による増加を見越し、使用する設備の時間シフトや未使用時の電源オフ管理の徹底に取り組めます。エアコンの節電を促すべく、大きく見やすい室温計の導入を検討します。				
1-2	ガソリン消費量削減 単位：ℓ	6,692	6,659 基準年度△0.5%	6,008	110.8%	○
	評価と 次年度の取組み内容	基準年度比約600ℓの削減と良い結果となりました。 次年度は機材類の運搬時によく使用する大型商用車をガソリン車からハイブリッド車への入れ替えを検討しております。走行前に自社でタイヤの空気圧チェックができるよう機材を購入し、燃費の向上に取り組めます。				

7
エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

11
住み続けられる
まちづくりを

12
つくる責任
つかう責任

13
気候変動に
具体的な対策を

2	一般廃棄物排出量削減 単位：kg	1,080	1,069 基準年度△1.0%	1,069	100%	○
	評価と 次年度の取組み内容	当初計画通りの削減幅となり、順調な結果でありました。 次年度の取組みとして、ペーパーレス化推進を図るべく図面関係で配布用で使用している紙を電子化の検討を行います。分別強化の為、表示の設置を行います。				
2-2	産業廃棄物排出量削減 単位：kg	31,705	31,388 基準年度△1.0%	32,129	98%	△
	評価と 次年度の取組み内容	廃棄設備の切削油、潤滑油を排出したことで増加に転じ98%となりました。 次年度の取組みとして、一番排出の多い金属系のクズのリサイクルに力を入れ分別、排出量の削減に取り組めます。				

3
すべての人に
健康と福祉を

6
安全な水とトイレ
を世界中に

11
住み続けられる
まちづくりを

12
つくる責任
つかう責任

13
気候変動に
具体的な対策を

14
海の豊かさを
守ろう

15
陸の豊かさも
守ろう

環境経営目標の実績と評価 次年度の取組（2）

実施期間（2022年4月～2023年3月）

■ は達成 □ は未達

評価基準：○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

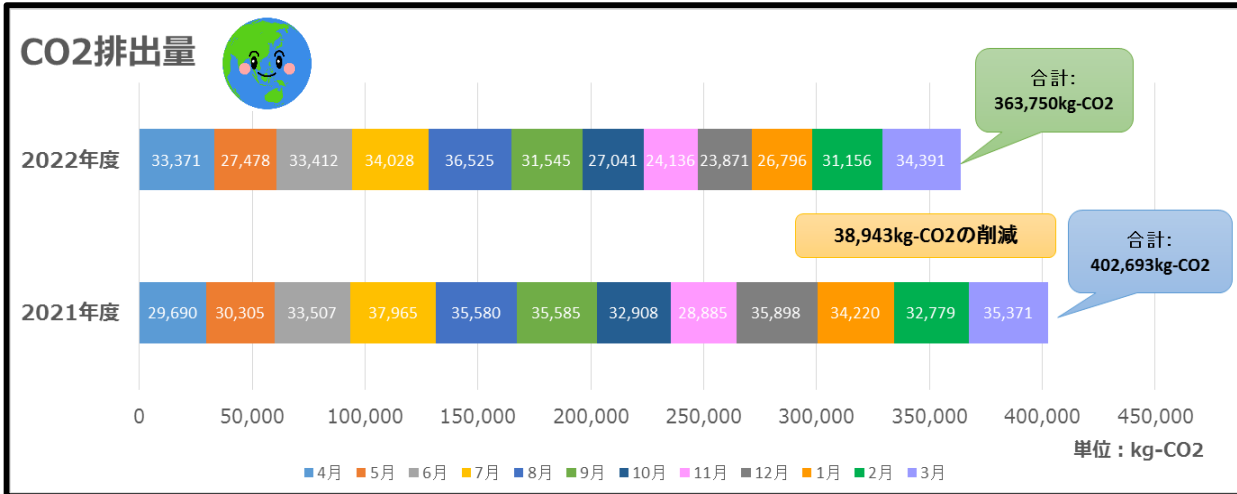
No.	環境目標	基準年度 実績値 2021年度	2022年度 目標値/ 基準年度比	2022年度 実績	達成率	評価
3	水使用量削減 単位：m ³	330	328 基準年度△0.5%	355	92%	△
	評価と 次年度の取組み内容	達成率で92%となりました。集計期間中に水道管に漏洩が見つかり、増加に転じたことが予想されます。次年度の取組みとして、使用量の増減を把握すべく毎月の水道メーターの確認を行い、いち早く対処を行える様にします。引き続きの節水表示の掲示活動、蛇口の開閉動作の意識付けに取り組みます。				

4	生産効率向上による環境への効果	・新たな開発や生産工程見直しによる時短に取り組み、電力消費量を抑制する。				
	評価と 次年度の取組み内容	効果を発揮し成果に繋がっております。引き続きのDRの推進による歩留りの削減、治工具類の見直しによる業務効率の向上、製造方法の抜本的な見直しによる設備加工時間の短縮に努め、電力使用削減に繋がる活動に取り組んで参ります。				
5	品質不具合削減による環境への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・打合せ、段取りをしっかりと行い、不具合削減に努める。 ・ロスを削減する事により、再製作時の電力消費量を抑制する。 				
	評価と 次年度の取組み内容	取り組みを行った結果だが事業部によって成果に違いがありました。加工課で不具合品の削減に取り組んだが削減とは至らず結果に課題を残しました。次年度は品質向上を達成すべく、品質チームを発足し不具合品削減に向けた仕組み作りと活動に取り組んで参ります。				

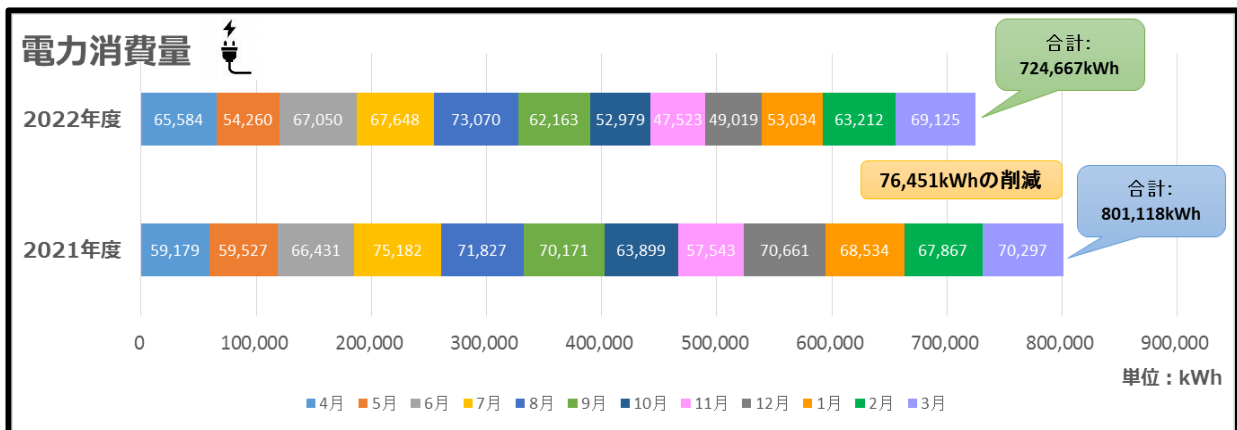
※ CO2排出係数は 九州電力2020年度 0.479kg-CO2/kWh（調整後排出係数）

※ 軽油とLPGについては使用量が少ないので目標に設定せず日常管理に努めて参りますが、CO2排出量の合計の項目には含めず。

環境経営目標の実績と評価



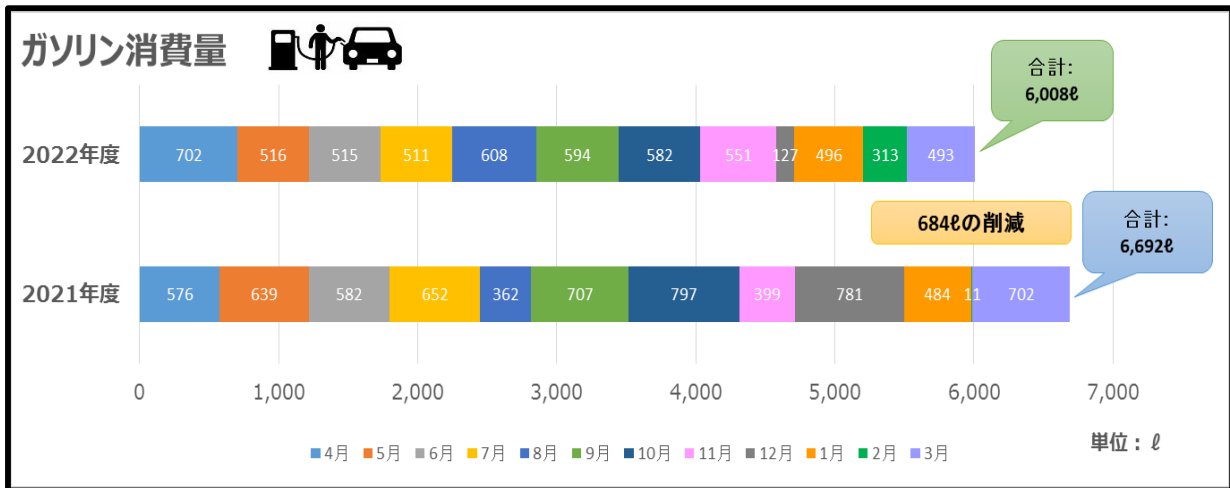
当社のCO2排出量の約95%を電力が占めています。
 大型加工設備や温度管理の為に空調機器が多いのが大半の理由であります。
 その点を踏まえ活動を行い、大幅な約39,000kg-CO2の削減、達成率で110%の結果を得る事ができました。



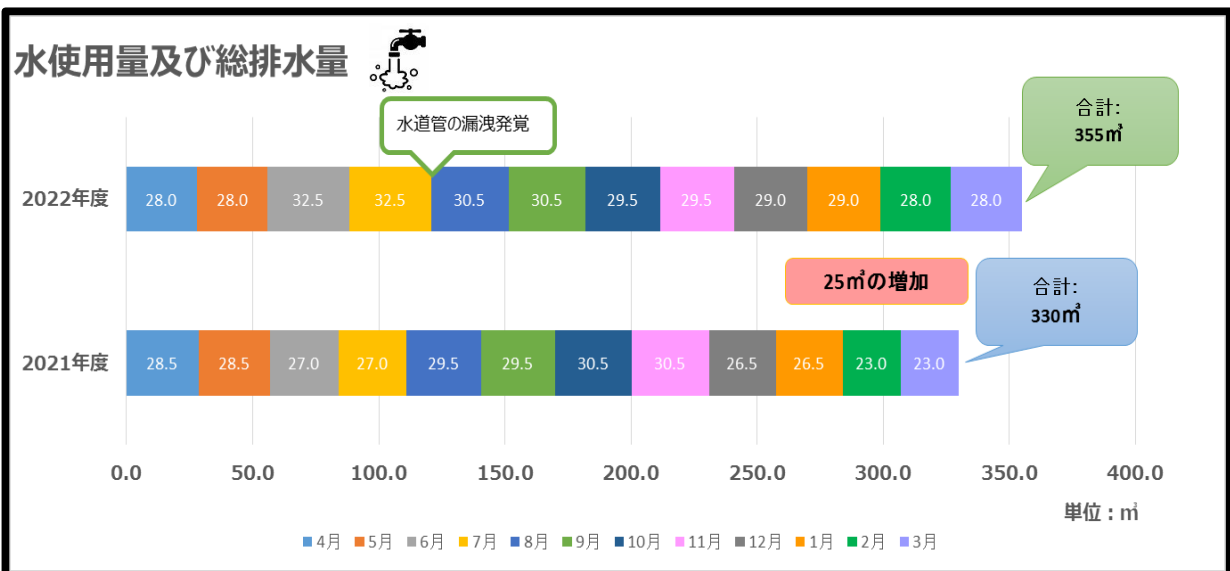
電力消費量については、削減意識を向上させるためのデマンドの説明会や電力モニターの新設や事業部ごとの使用しない機器の電源を落したり、古い機器の稼働を抑え新しい省エネ効果の高い機器に変換させる事で効率的な稼働に努めました。
 エアコンでは温度管理を徹底し夜間の気温変動を見越しての使用台数の管理や、エアコン効率の低下を防ぐため、定期的なフィルターの清掃に努めました。
 電灯やPCは使用しない際の電源管理などにも徹底して取り組みました。
 その他ウォームビズに取り組む為にジャンパーの支給を行い、個人から節電意識の向上に努めました。
 これらの取り組みの結果、76,500kWhの削減、達成率で110%の結果となりました。
 当社で使用する約1ヵ月分の電力量を削減できたという大きな成果を得る事ができました。



環境経営目標の実績と評価



エコドライブの推進を行いました。
 毎月各車両ごとに燃費を確認する表を作成して見える化することで、使用者がエコドライブに関心を持てるようになりました。
 車両の使用前点検の励行、タイヤの空気圧チェックを実施し、燃費の向上に努めました。



基準年度（2021年度）と比較し使用量増の結果でありました。
 エコアクション21スタートしてすぐの8月に水道管の漏洩が発覚し補修を行っております。
 また報告年度は仕事量の増加による人員の増加、また建屋内の改修工事による外部よりの人員の出入りが多くなり内部で使用する量が年度の後半で高まりました。



環境関連法規などのとりまとめ及び遵守評価記録

・遵守すべき法規

法律名称	当社に適用される要求事項	評価時期	評価記録	適・否
廃棄物処理法	【産業廃棄物保管基準】 ・見やすい箇所に必要事項が記載された掲示板の設置 ・飛散、流出、地下浸透、悪臭の発散がない措置 ・ネズミ、蚊、ハエその他の害虫が発生しない措置	日常	現状監視	適
	【産業廃棄物委託基準】 ・知事の許可を受けた収集運搬業者かつ処理業者との3者間で契約 ・委託契約書の締結 ・契約終了後、5年間は契約書の保管 ・委託内容は許可範囲内で行い、書面に記載する。	毎年	委託契約書 許可証写し	適
	【マニフェスト】 ・すべての産業廃棄物にマニフェストを交付する。	日常	マニフェスト	適
	【マニフェスト】 ・A票、B2票、D票、E票を5年間保管	毎年	マニフェスト	適
	【マニフェスト】 ・90日以内にB2、D票、180日以内にE票の送付が無い場合は、業者に照会し、状況を30日以内に行政へ報告	月1回	産業廃棄物 管理票未回収 報告書	適
消防法	危険物の貯蔵、取扱い (指定数量以下)の規制遵守	日常	現状監視	適
フロン排出抑制法	エアコンの点検 業務用エアコン室外機 フロン式コンプレッサー	年4回	点検記録	適
劇物取締法	規制遵守 ①盗難紛失を防ぐ措置をとらなければならない。 ・鍵のかかる場所に保管する。 ・薬品保管簿を作成し使用量、残量が把握できるようにする。 ②飛散、漏れが無きよう措置、監視を行う。 ③盗難、紛失の場合は警察署に届け出る。	日常	現状監視	適

- ・環境関連法規の遵守状況
法令違反はありませんでした。
- ・周辺からの苦情の有無
期間内、ありませんでした。
- ・関連機関からの行政指導
期間内、ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し、指示の結果

・代表者への報告と代表者の評価とコメント

環境情報	所見	代表者の評価・コメント
① 環境関連法規等の遵守状況確認結果	遵守できていました。	法規遵守できています。
② 環境経営目標の達成状況	CO2排出量、電力消費量、ガソリン消費量、一般廃棄物は達成。産業廃棄物、水については未達成となりました。	各消費量について様々な施策を実行し成果を挙げていることに、今後にも大変期待しております。
③ 環境経営計画の実施状況	事業部ごとに全員がそれぞれの役割を果たし、ひとつの結果に向け取り組む姿勢が見られました。	目標を達成すべくリーダーを中心に頑張ってくださいました。次年度も全員での目標達成に取り組んでいきましょう。
④ 問題点の是正、予防の状況	問題点はありませんでした。	特にありません。
⑤ 外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情はありませんでした。	苦情や問題は発生しておりません。
⑥ その他	特にありません。	特になし。

・見直しの必要性判断と 代表者の指示

①環境経営方針	継続して行っていく。
②環境経営目標	継続して行っていく。
③環境経営計画	継続して行っていく。
④実施体制	継続して行っていく。
⑤その他の指示	継続して行っていく。

代表者のエコアクション21への思い

2023年2月8日、我社にも吉報が届いた。

「エコアクション21 登録にあたり特に問題ございません。」

待っていたこの言葉に、うれしさと共に安堵の息が漏れました。

「エコアクション21を取得するぞ」と目標を掲げたのが2022年初め。

実に1年間にわたって登録を取得する為、地方事務局の方々、審査員の先生方、様々な方々にご協力を頂きました。

あらためまして感謝の意を申し上げます。

そして何よりこの目標を達成した戸高製作所の社員一同、それを引っ張ってきた推進委員の方々に「おめでとうございます。」とねぎらいの言葉を贈りたい。

この活動を通して今では社員一人一人がエコに関する取り組みを率先して行う姿勢が見られるようになってきました。「もったいない文化」を継承していければと思います。スタートさせたこのプロジェクトが、社員の心に通じてきたことを大変うれしく思い、今後の取り組みに大いなる期待を寄せております。

始まったばかりのこの活動。この活動を通して地球環境へ優しい会社へとつなげていくために継続して頑張っていく事が大切であります。

この心が社員一人一人に芽生えたこと、そしてこれからも育んでいこうとする気持ちを大切に、継続していけるよう共に頑張っていきましょう。

2023年 6月9日
株式会社 戸高製作所
代表取締役 赤坂武義



環境経営活動の取組

① 電力モニターを増設



増設による多くの人への見える化により、常に意識することができました。電力上限値に近づいた際はアラームでお知らせ、各事業部で決定した節電行動を実施し節電に大きな効果を上げました。



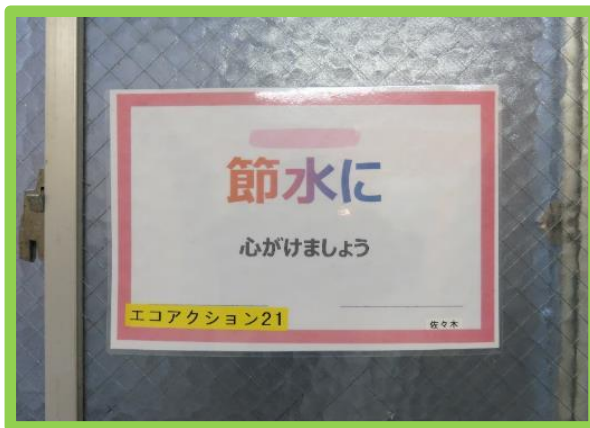
② エコアクション21 掲示物の作成、掲示



現状を掲示物でお知らせし、意識向上に効果を上げました。



③ 節水呼びかけの為の表示作成、掲示



注意喚起を行うことで、使用量の削減やポタポタ漏れの防止に効果を上げました。



6 安全な水とトイレを世界中に



環境経営活動の取組

④ リサイクルボックスの設置



分別や再利用などであらためて物の大切さを認識し、事業部の垣根を越えたリサイクル活動が生まれました。



リサイクルボックスに出されたキャスター及びシートと不要になった作業台を使い、リメイクを実施しました。

⑤ 社有車燃料消費グラフの作成



車種、使用者ごとに燃料消費量を把握することができ、注意喚起を行える様になりました。

また消費量改善の為に、タイヤの空気圧チェックなどを今まで以上に積極的に取り組めるようになりました。

緊急事態対応訓練

・消防訓練 2022年8月18日実施



8月18日に**消防訓練**を行いました。

消火器の使い方を熱心に学ぶ、各事業部の精鋭のみなさん

緊張の面持ち

消火栓の確認、エンジン全開！
いざとなれば消化ホースを担いで
消火活動に走ります。

今回はコロナ禍で全員参加をしませんでしたが、
選ばれし精鋭の皆さん、消防訓練お疲れさまでした。

4 質の高い教育を
みんなに

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナーシップで
目標を達成しよう